



アドアース西船橋店

2006.4.1-2006.9.30  
**ADORES**  
**40th Interim**  
**Business**  
**Report**



アドアース錦糸町店



アドアース広島駅前店

あなたの  
笑顔のために  
Create  
Happiness



株主の皆様へ

## アドアーズはこれから 新たな成長ステージへ向かいます。



代表取締役社長  
鈴木 英一

### 当期業績について

#### 中間の業績について

株主の皆様におかれましては、平素より当事業に対し格別なるご理解ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。第40期の中間事業報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

当社が属するアミューズメント業界の市場は、平成17年度のおペレーション売上高が6,825億円と4年連続で前年比プラスとなるなど、堅調な推移をしております。しかし、機器および店舗の大型化、大手企業の経営統合の影響などにより、市場の2極化も進みつつあり、業界各社の競争は激しくなっております。

このような情勢のもと、当社は本年5月より経営体制を強化し、主力事業のアミューズメント施設運営事業での市場シェア拡大と地位の確立を重点目標と据え、当社最大規

模となる『アドアーズ錦糸町店』（東京都墨田区）や中国地方初出店となる『アドアーズ広島駅前店』（広島県広島市）の出店、既存店活性化策としてポイントサービスの刷新や積極的なマシン投資など、様々な改革・施策を行いました。

パチスロ機・周辺機器レンタル事業は新レンタルが好調であったことおよび各種施設開発・設計・施工事業におきましては前期までの受注体制の強化が実を結び、当中間期の与信体制の強化も加わって、ともに大きく売上を伸ばすことができました。また、不動産事業に関しましても、概ね計画通りの売上を達成することができました。

この結果、当中間期の売上高は前年同期比2.5%増の9,635百万円、経常利益は新店開設やマシンの前倒し投資による減価償却費の増加や体制強化による販売管理費の増加により同55.4%減の315百万円となりました。また、中間純利益は店舗収益の回復効果により減損損失が減少したものの、同22.7%減の127百万円となりました。

## 下期計画および通期業績に向けて

## オペレーター専門No.1企業を目指して

下期の計画といたしましては、新規出店計画5ヵ店(前記2ヵ店に加えて、10月1日開設した西船橋店(千葉県船橋市)のほか2ヵ店(下期計3ヵ店))を達成し、第2四半期以降の勢いを持続してまいります。これに加えまして、従業員教育の強化、上期後半から開始した効率的な店舗運営を推進することで大幅なコスト削減を達成し、今後はお客様満足度および経営効率においてアミューズメント施設運営専門オペレーターNo.1を目指してまいります。

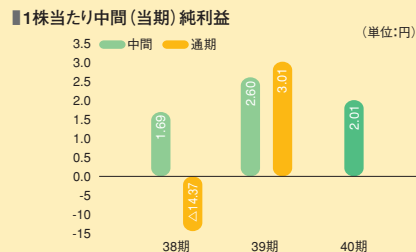
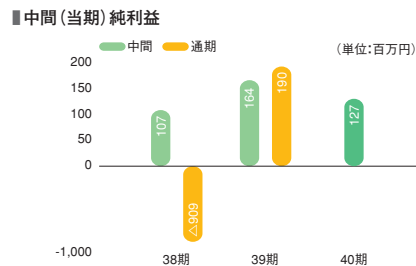
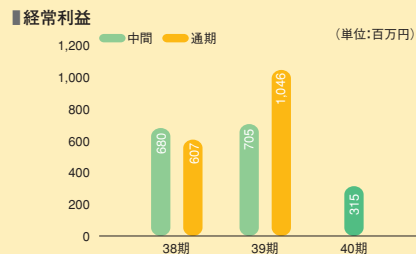
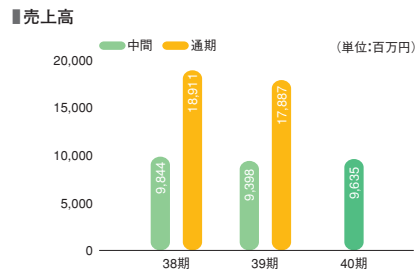
また、パチスロ機・周辺機器レンタル事業、各種施設開発・設計・施工事業、不動産事業においてもリスク管理の体制・人員体制等の強化を図ることで、業績の安定化を進めてまいります。

今後も主力であるアミューズメント施設運営事業に最注力しながら、これらで得られたノウハウを活かし、アミューズメント施設総合開発企業として積極的な事業展開を進めてまいります。

また、内部管理体制の強化をはじめ、今後も中長期的な組織体制強化をすすめ、コンプライアンス(法令遵守)や社会的責任(CSR)など上場会社としての責任を果たしてまいります。

株主、投資家の皆様におかれましては、引き続きましてご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 財務ハイライト



## 特集 アドアーズは全国への出店計画を加速させています。

当社の40期新店はまず錦糸町店(4/20開店)から始まりました。東東京最大とも言われる商業施設、錦糸町「オリナスモール」の地下1階1フロアを使い、当社最大の店舗面積(450坪)を誇る大型店舗となります。店内には最新のマシンを導入、お客様のニーズを捉えるとともに広いフロアの利点を活かしたコーナー分けや装飾で、遊びやすい空間を作りました。オリナス内の映画館や衣料品店をはじめとする店舗の集客力との複合効果は大きく好調な営業を続けております。また、広島駅前店(8/31開店)は当社にとって一番の遠隔地への出店となりました。駅前とはいえ都内の店舗とは商圈も異なる中、お客様に人気のマシンを導入し、様々な販促活動・イベントを行いながらスタートしております。

3店舗目となる西船橋店(10/1開店)は地域で有名なアミュ

ーズメントビル「長太郎ビル」2階への出店となりました。パチンコ・ボウリング・ビリヤード・ダーツなどがテナントとして入っており、相乗効果が期待できる環境です。駅前ながら交通量の多い県道沿いに位置し、“ロードサイド商圈”として捉えることにより、広範囲のお客様を集客することが可能となります。

今期出店3店舗に共通する考え方はアミューズメント業界全体に見られる傾向を意識していることです。近年店舗の大型化やロードサイドへの出店が顕著に見受けられますが当社もこのトレンドを捉えるべく、錦糸町は「大型店の運営」、広島は「遠隔地オペレーション(全国展開への第1歩)」、西船橋は「ロードサイド店の集客」を図り、立地条件に応じた魅力ある店舗作りに努めております。

### ■当期の出店状況

店名	場所	特徴
アドアーズ 錦糸町店	東京都 墨田区	当社最大級の営業面積(1層450坪)を誇る、超大型の新たな旗艦店です。東東京最大の商業施設「olinas」内にあり、相乗効果の集客が狙える好立地です。
アドアーズ 広島駅前店	広島県 広島市	駅前ロータリーに面した当社得意の立地に、飲食テナント等との複合型ビルならではの相乗効果も見込まれる大型店舗(1層282坪)です。アドアーズ全国展開に向けての第一歩、中国地方初の出店です。
アドアーズ 西船橋店	千葉県 船橋市	地域で有名な総合アミューズメントビルへの出店(1層265坪)です。駅から近い上、交通量の多い県道にも面し、ロードサイド型&地元密着型商圈として高い集客が見込めます。

※この他、ADORES Café 錦糸町店、道頓堀店を出店いたしました。

### ■今後の展開

既存店舗の安定した売上や収益性の向上にも、もちろん積極的に取り組むべく、全店的な「営業施策の活性化」や、費用対効果を上げる為の「標準化」策はすでに具体化されております。

これらを踏まえた上で出店をさらに加速してまいります。

出店地域につきましては前出の通り東京近郊にとらわれることなく、日本全国から優良物件の情報を収集しており、下期には当社初出店となります東北地方や、近畿圏での出店が予定されております。そのいずれもが大型商業施設と隣接し、相乗効果が得られる環境にあります。

来期以降も候補物件は次々に開発中であり、1店舗1店舗の着実な成功を積み重ねながら業容拡大をめざしてまいります。

**① アドアーズ錦糸町店**  
**2006年4月20日OPEN!**



\*併設のADORES Caféは2006年12月にキッズカフェにリニューアルオープンいたします。

**③ アドアーズ 広島駅前店**



**2006年8月31日OPEN!**

**④ アドアーズ 西船橋店**



**2006年10月1日OPEN!**

出店地域を  
**拡大**



**② ADORES Café 道頓堀店**  
 2006年8月11日OPEN!

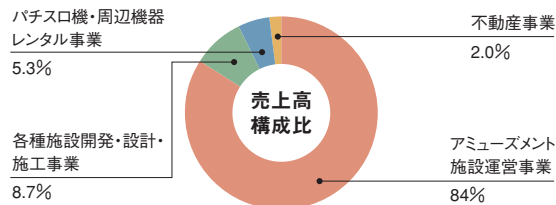
	店舗数
東京都	32
神奈川県	16
埼玉県	6
千葉県	6
群馬県	2
茨城県	1
大阪府	2
広島県	1
合計	66

2006年9月30日現在



## 営業の概況

当中間期の売上高は96億3千5百万円(前年同期比2.5%増)、経常利益3億1千5百万円(同55.4%減)、中間純利益1億2千7百万円(同22.7%減)と、増収減益になりました。以下に事業別の概況をお知らせいたします。



### ● アミューズメント施設運営事業

当事業では当社最大の営業面積を有する『アドアーズ錦糸町店』や、広島県初出店となる『アドアーズ広島駅前店』等を開設しました。また2店舗を閉店し、当中間期末での直営店舗数は66店舗となっております。営業施策では、ポイントサービス制度の刷新、アミューズメント機器の積極投資やスタッフの教育研修強化等の施策を行いました。以上の結果、当事業全体の売上高は8,087百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

### ● パチスロ機・周辺機器レンタル事業

パチスロ機・周辺機器レンタル事業では、新レンタル収入が安定しており、概ね計画通り推移いたしました。

以上の結果、売上高は514百万円(前年同期比803.3%増)となりました。

### ● 各種施設開発・設計・施工事業

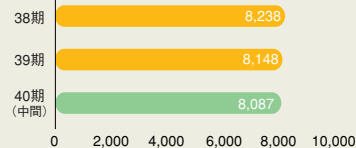
各種施設開発・設計・施工事業では、営業体制の抜本的な見直しと与信管理の強化体制が整い、積極的な受注活動を行いました。

以上の結果、売上高は836百万円(前年同期比370.9%増)となりました。

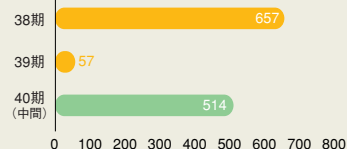
### ● 不動産事業

不動産事業では、不動産賃貸収入により概ね計画通り推移し、売上高は195百万円(前年同期比80.7%減)となりました。

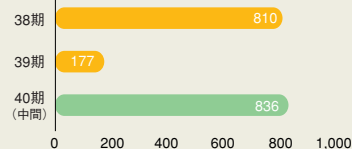
■アミューズメント施設運営事業売上高 (単位:百万円)



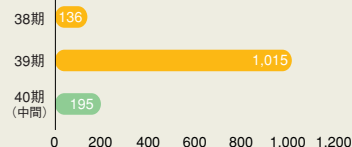
■パチスロ機・周辺機器レンタル事業売上高 (単位:百万円)



■各種施設開発・設計・施工事業売上高 (単位:百万円)



■不動産事業売上高 (単位:百万円)



## 財務諸表

新たな会計基準の導入により、財務諸表は以下のように変更となっています。

貸借対照表「資本の部」が廃止され、「純資産の部」が新設されました。これは、貸借対照表上、資産性を持つものを「資産の部」、負債性を持つものを「負債の部」に記載し、それらに該当しないものを資産と負債との差額として「純資産の部」に記載するものです。これにより、会社の支払能力などの財政状態を、より適切に表示することが可能となります。

損益計算書末尾の「未処分利益」の計算区分が廃止されました。これは、期中における剰余金の変動は、2006年5月1日施行の会社法により新設された「株主資本等変動計算書」で説明されるためです。

「株主資本等変動計算書」が新設されました。これは、貸借対照表の純資産の部の中で、主として株主の皆様に帰属する株主資本について、その会計期間における変動事由と変動額を、単体ベースでご報告するために作成する計算書類です。

### ■ 中間貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第40期中間 2006年9月30日現在	第39期中間 2005年9月30日現在
<b>● 資産の部</b>		
流動資産	10,695	8,464
固定資産	20,272	18,136
資産合計	30,967	26,601
<b>● 負債の部</b>		
流動負債	8,557	8,327
固定負債	8,677	4,531
負債合計	17,235	12,859
<b>● 資本の部</b>		
資本金	—	4,000
資本剰余金	—	5,855
利益剰余金	—	4,019
株式等評価差額金	—	9
自己株式	—	△142
資本合計	—	13,742
負債及び資本合計	—	26,601
<b>● 純資産の部</b>		
株主資本	13,721	—
資本金	4,000	—
資本剰余金	5,855	—
利益剰余金	4,014	—
自己株式	△149	—
評価・換算差額等	11	—
純資産合計	13,732	—
負債、純資産合計	30,967	—

注：掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、全て単位未満を切り捨てて表示しています。

## ■ 中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	第40期中間	第39期中間
	2006年4月1日から 2006年9月30日まで	2005年4月1日から 2005年9月30日まで
売上高	9,635	9,398
売上原価	7,961	7,619
販売費及び一般管理費	1,359	1,118
営業利益	313	659
営業外損益	1	45
経常利益	315	705
特別損益	△96	△313
中間純利益	127	164

## ■ 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第40期中間	第39期中間
	2006年4月1日から 2006年9月30日まで	2005年4月1日から 2005年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,602	2,714
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,569	△930
財務活動によるキャッシュ・フロー	673	△1,123
現金及び現金同等物の増減額	706	660
現金及び現金同等物の期首残高	6,114	3,394
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,821	4,055

## ■ 中間株主資本等変動計算書 第40期中間 (2006年4月1日から2006年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前期末残高	4,000	5,855	4,045	△145	13,755	12	13,768
第40期中間期中変動額							
剰余金の配当			△157		△157		△157
中間純利益			127		127		127
自己株式の取得・処分				△3	△3		△3
株主資本以外の項目の第40期中間期中変動額(純額)						△1	△1
第40期中間期中変動額合計			△30	△3	△34	△1	△36
中間期末残高	4,000	5,855	4,014	△149	13,721	11	13,732

注:掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、全て単位未満を切り捨てて表示しています。

### 売上高売上総利益率 17.4% : 収益性

売上高売上総利益率は主に新規店舗の開設とAM機器の前倒し投資による減価償却費が増えた結果、1.2ポイント減少し17.4%となりました。下期は売上の増加はもちろん、上期後半より推進しております運営効率向上を主眼におき、コストの削減に努めることで運営專業オペレーターNo.1を目指します。

### 株主資本比率 44.3% : 財務健全性

株主資本比率はレンタル事業および各種施設施工事業の受注増による中長期債権増加の影響から、0.7ポイント減少し44.3%となりました。一方で有利子負債は、新店・AM機器の投資が前期よりも大幅に増えたものの、投資資金の選択と集中を重視した結果、前期末にくらべ若干減少し9,893百万円となりました。今後も長期債権に対する与信リスクや投資資金とのバランスを勘案しながら、財務体質の改善を図ってまいります。

### 株主資本当期純利益率 1.8%(通期見込) : 株主資本効率性

株主資本当期純利益率は前期に比べ0.4ポイント増加し、1.8%となる見込です。当社は重要視する経営指標としてROEを掲げており、上期においても中長期目標10%達成に向け、収益基盤の強化として経営体制の強化をはじめ、積極的な先行投資をすすめてまいりました。今後も収益性と財務健全性のバランスを維持しながらROEの向上を目指し、積極的に事業を展開してまいります。

# 会社概要 | 株式の状況 (2006年9月30日現在)

社名 アドアーズ株式会社 (ADORES, Inc.)  
 創業 昭和39年2月11日  
 設立 昭和42年12月25日  
 資本金 40億円  
 社員数 318名・臨時従業員890名  
 本社事務所 〒103-0002  
 東京都中央区日本橋馬喰町二丁目1番3号  
 Tel. (03) 5623-1100 (代表)

事業所 四街道事業所：〒284-0033  
 千葉県四街道市鷹の台一丁目3番  
 Tel. (043) 420-4521 (代表)

事業内容 ● アミューズメント施設の企画、開発及び販売  
 ● アミューズメント施設のデザイン、施工及び監理  
 ● 遊戯機器及び遊技機器・部品のレンタル  
 ● 遊戯場施設の運営及び運営サポート  
 ● 遊戯機器及び遊技機器・部品の修理及び保守管理業務

ホームページ <http://www.adores.co.jp/>

## 役員

代表取締役社長 鈴木 英一  
 取締役 横川 敏憲  
 取締役 小泉 基靖  
 取締役 石田 政三  
 取締役 中川 健男  
 取締役 八多川 昭一  
 取締役 野本 文之輔  
 常勤監査役 森田 淳  
 監査役 田村 達美  
 監査役 上野 勝  
 監査役 柴山 高一  
 監査役 板谷 嘉之

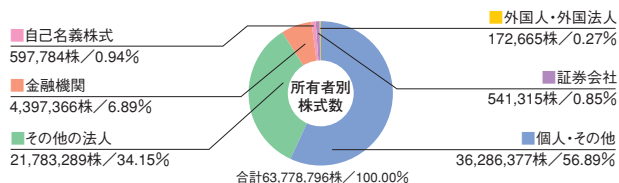
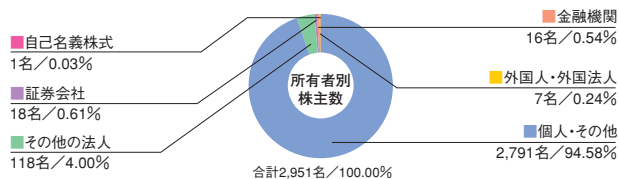
## ■株式の状況

発行可能株式総数 ..... 130,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 63,778,796株  
 株主数 ..... 2,951名(うち、単元株主数2,406名)

## ●大株主

株主名	当該株主の当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	20,500,000	32.83
アルゼ株式会社	19,212,000	30.76
日本証券金融株式会社	3,495,000	5.59
鈴木 昭作	1,629,486	2.60
星 久	1,243,924	1.99
株式会社ヤマニ興業	624,460	0.99
岡田 浩明	606,000	0.97
株式会社ハッチ東京	480,320	0.76
財団法人嘯月美術館	417,000	0.66
アドアーズ従業員持株会	392,965	0.62

注：上記のほか、当社名義の株式が597,784株あります。



## ホームページのご案内

**ADORES** ホームページ  
<http://www.adores.co.jp/>

アドアーズ株式会社のホームページでは、株主の皆様や投資家の方々に当社の事業内容へのご理解を一層深めていただくため、会社概要や最新のIR情報を掲載しています。どうぞご利用ください。



アドアーズ直営店  
 専用サイト

アドアーズドット ジェーピー <http://www.adores.jp/>



店舗の最新情報やイベント情報が満載です。

### 会社案内

「社長ご挨拶」「ビジョン」「会社概要」等の当社の各情報をご覧いただけます。

### 事業紹介

当社の行っている事業について、詳細な内容をお伝えしています。

### 店舗情報

当社直営店舗の各情報や、新規オープン店舗などの情報をご紹介します。

### IR・PR情報

当社決算資料や、開示情報およびプレスリリースを公開しています。

### 求人情報

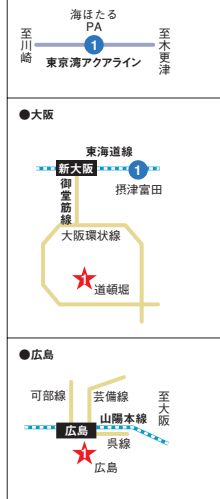
当社採用情報を掲載しています。

IR・PR情報 <http://www.adores.co.jp/ir/>



最新のIR情報などがご覧いただけます。

## ●直営店舗



東京:32、神奈川:16、埼玉:6、  
千葉:7、群馬:2、茨城:1、大阪:2、  
広島:1

### 計67店舗

※中の数字は店舗数を表しています。  
※2006年10月1日現在

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(同送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711(通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公告方法 日本経済新聞に掲載して行います。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)

0120-684-479(大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

○単元未満株式の買増制度について

当社は「単元未満株式の買増制度」を導入しております。単元未満株式を有する方は、当社に対してその単元未満株式の数と併せて1,000株となる数の単元未満株式を売渡請求することができます。

お手続きなどの詳細につきましては、株主名簿管理人あてご照会ください。(単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたしております。)

# アドアーズ 株式会社

ホームページ: <http://www.adores.co.jp/>

本誌に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

経営企画室IR・広報グループ: (03) 5623-1115